

1. 募集人員・入学試験日程

学部	入試制度	学系・学科・専攻	専修	募集人員
文化構想学部	一般	文化構想学科	(論系については「入学案内」必読)	430名
	一般(英語4技能テスト利用型)			70名
	センター利用(センター＋一般方式)			35名
	センター利用(センターのみ方式)			35名
文学部	一般	文学科	(コースについては「入学案内」必読)	390名
	一般(英語4技能テスト利用型)			50名
	センター利用(センター＋一般方式)			25名
	センター利用(センターのみ方式)			25名
法学部	一般	—	—	350名
	センター利用	—	—	100名
政治経済学部	一般	政治学科	—	150名
		経済学科	—	200名
		国際政治経済学科	—	100名
	センター利用	政治学科	—	25名
		経済学科	—	35名
		国際政治経済学科	—	15名
商学部	一般	—	—	455名
	センター利用	—	—	80名
スポーツ科学部	一般	スポーツ科学科	(コースについては「入学案内」必読)	100名
	センター利用(センター＋一般方式)			50名
	センター利用(センターのみ方式)			50名
	センター利用(競技歴方式)			50名
国際教養学部	一般	国際教養学科	—	150名
	センター利用	—	—	50名
人間科学部	一般	人間環境科学科	—	115名
		健康福祉科学科	—	125名
		人間情報科学科	—	100名
	センター利用(センターのみ方式)	人間環境科学科	—	5名
		健康福祉科学科	—	5名
		人間情報科学科	—	5名
		人間環境科学科	—	15名
センター利用(数学選抜方式)	健康福祉科学科	—	15名	
	人間情報科学科	—	15名	
社会科学部	一般	社会科学科	—	450名
	センター利用	社会科学科	—	50名
基幹理工学部	一般	学系Ⅰ	(学系については「入学案内」必読)	45名
		学系Ⅱ		210名
		学系Ⅲ		65名
		建築学科		80名
創造理工学部	一般	総合機械工学科	—	80名
		経営システム工学科	—	70名
		社会環境工学科	—	50名
		環境資源工学科	—	35名
		物理学科	—	30名
先進理工学部	一般	応用物理学科	—	55名
		化学・生命化学科	—	35名
		応用化学科	—	75名
		生命医科学科	—	30名
		電気・情報生命工学科	—	75名
		教育学科	教育学専修	125名
教育学専攻	生涯教育学専修			
—	教育心理学専修			
教育学部	一般	教育学科	—	25名
		初等教育学専攻	—	100名
		国語国文学科	—	100名
		英語英文学科	—	100名
—	—	社会科	地理歴史専修	185名
		—	公共市民学専修	
		理学科	生物学専修	60名
		—	地球科学専修	
		数学科	—	
複合文化学科	—	50名		

「入学案内」は、入学センターウェブサイトから閲覧もしくは請求できます。
 入学検定料は、「入学検定料」(32ページ)を参照してください。

出願期間
(締切日消印有効)

センター利用入試 } 2018年1月5日(金)～1月16日(火)
 一般入試(英語4技能テスト利用型) }
 一般入試 2018年1月5日(金)～1月26日(金)

試験日	合格者発表日	補欠合格者発表日	入学手続期間		
			第1次振込期間 (締切日振込有効)	書類郵送締切日 (締切日消印有効)	第2次振込締切日 (締切日振込有効)
2月12日(月)	2月20日(火)	3月16日(金)	2月21日(水)～3月2日(金)	3月13日(火)	3月23日(金)
2月12日(月)	2月20日(火)	—	2月21日(水)～3月2日(金)		
2月12日(月)	2月20日(火)	—	2月21日(水)～3月2日(金)		
—	2月9日(金)	—	2月13日(火)～2月19日(月)		
2月17日(土)	2月26日(月)	3月16日(金)	2月27日(火)～3月5日(月)		
2月17日(土)	2月26日(月)	—	2月27日(火)～3月5日(月)		
2月17日(土)	2月26日(月)	—	2月27日(火)～3月5日(月)		
—	2月9日(金)	—	2月13日(火)～2月19日(月)		
2月15日(木)	2月24日(土)	1回目 3月9日(金) 2回目 3月17日(土)	2月26日(月)～3月2日(金)		
—	2月9日(金)	—	2月13日(火)～2月19日(月)		
2月20日(火)	2月28日(水)	—	3月1日(木)～3月7日(水)		
—	2月10日(土)	—	2月13日(火)～2月19日(月)		
2月21日(水)	3月1日(木)	1回目 3月10日(土) 2回目 3月17日(土)	3月2日(金)～3月8日(木)		
—	2月8日(木)	—	2月9日(金)～2月16日(金)		
2月14日(水)	2月23日(金)	3月16日(金)	2月26日(月)～3月2日(金)		
2月14日(水)	2月23日(金)	—	2月26日(月)～3月2日(金)		
—	2月9日(金)	—	2月13日(火)～2月19日(月)		
書類審査	2月9日(金)	—	2月13日(火)～2月19日(月)		
2月13日(火)	2月21日(水)	1回目 3月6日(火) 2回目 3月17日(土)	2月22日(木)～3月2日(金)		
—	2月9日(金)	—	2月13日(火)～2月19日(月)		
2月18日(日)	2月27日(火)	3月16日(金)	2月28日(水)～3月6日(火)		
—	2月15日(木)	—	2月16日(金)～2月22日(木)		
2月8日(木)	2月15日(木)	—	2月16日(金)～2月22日(木)		
2月22日(木)	3月2日(金)	3月13日(火)	3月5日(月)～3月9日(金)		
—	2月6日(火)	—	2月7日(水)～2月14日(水)		
2月16日(金)					
2月16日(金)、2月17日(土)※					
2月16日(金)	2月26日(月)	1回目 3月9日(金) 2回目 3月18日(日)	2月27日(火)～3月5日(月)		
2月16日(金)					
2月19日(月)	2月27日(火)	3月16日(金)	2月28日(水)～3月6日(火)		

補欠合格者の入学手続期間は、「補欠者および補欠合格者発表方法」(45ページ)を参照してください。
 ※ 創造理工学部建築学科志願者は2月16日(金)に数学・理科・外国語の試験を、2月17日(土)に空間表現の試験を行います。

試験概要

出願

受験

合格者発表

入学手続

その他

所定用紙

2. 試験に関する注意（全学部共通）

(1) 一般入試・一般入試（英語4技能テスト利用型）・センター利用入試の併願

同一学部的一般入試・一般入試（英語4技能テスト利用型）・センター利用入試の各入試制度を併願することが可能です。

(2) 学部の併願

試験日が異なる学部間の併願は可能ですが、試験日が同一の学部間（基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部）の併願はできません。

(3) 学系・学科・専攻・専修の併願

人間科学部のセンター利用入試（センターのみ方式）では、複数学科を併願することが可能です。その他の学部・入試制度では、同一入試制度で同一学部の複数学系・学科・専攻・専修を併願することはできません。ただし、先進理工学部のみ、学部内で同一の理科解答パターンを持つ他学科を第2志望とすることができます。詳細は「基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部」（26ページ）を参照してください。

(4) 欠席科目の取扱い

1科目以上の欠席科目があった場合は、合否判定の対象外となります。

(5) 得点調整

科目間の難易度の差による有利・不利をなくすこと、各試験教科の配点ウェイトを合計点に適切に反映することを目的として、標準化等による得点調整を行う場合があります。

(6) 大学入試センター試験（以降「センター試験」と略す）

a. 前年度以前の成績の取扱い

当学では今年度（平成30年度）のセンター試験成績を利用します。前年度（平成29年度）以前の成績は利用できませんので、注意してください。

b. 成績未提供の場合の取扱い

志願者の責により、出願学部が指定した教科・科目の成績が大学入試センターから当学に提供されなかった場合は、合否判定の対象外となります。

c. センター試験における科目数

7ページ以降のセンター利用入試における「■試験科目・出題範囲等」の科目数について、理科の基礎を付した科目（2科目）は1科目として数えています。

d. 指定科目を2科目以上受験している場合

学部指定の教科・科目の範囲内で2科目以上受験する場合、得点の利用方法は学部により異なりますので、必ず7ページ以降の各学部注意事項を確認してください。

(7) 英語4技能テストを利用する入試制度

- a. 出願時に、実施学部が指定する英語4技能テストの証明書の提出が必須となります。証明書の種類が学部によって異なりますので、必ず7ページ以降の各学部注意事項と35、36ページの出願書類に関する注意事項を確認してください。
- b. 2016年2月以降に受験し、提出した証明書類に記載されているスコアを有効とします。実用英語技能検定は、二次試験を2015年度第3回以降に受験したものを有効とします（一次試験の受験日は問いません）。
- c. **コピーの提出は認めません。**異なる実施回の証明書を組み合わせることは出来ません。必ず1つの証明書上で出願学部の指定するすべての項目の基準を満たす必要があります。
- d. 1つの英語4技能テストの証明書で複数学部を併願する場合、提出は1枚で構いません。ただし一度にまとめて出願する場合に限ります。
- e. 志願者の責もしくは英語技能試験実施団体の都合による場合を含む、いかなる理由であっても、**2018年1月29日（月）までに**当学へスコアが提供されない場合は下表のとおり取り扱います。

入試制度	対応
国際教養学部 一般入試	英語4技能テストの得点を0点とします
文化構想学部および文学部 一般入試(英語4技能テスト利用型)	出願を認めません(不受理とします)

- f. スコアの到着に関する照会には一切お答えできません。
- g. 文化構想学部および文学部の一般入試（英語4技能テスト利用型）において、提出された証明書に記載されているスコアが出願学部の基準に満たない場合は合否判定の対象外となります。
- h. 提出された英語4技能テストの証明書が再発行不可の書類であっても、一度受理した書類は原則として返還いたしません。

3. 文化構想学部

- 学部単位での募集となり、2年次に各論系に進級します（論系については「入学案内」必読）。
- 一般入試とセンター利用入試に各2つ、計4つの入試制度があり、各制度の併願が可能です。複数の入試制度を一度にまとめて出願する場合、検定料が減額になることがあります。詳細については、32ページを確認してください。
- 一般入試、一般入試（英語4技能テスト利用型）およびセンター利用入試（センター＋一般方式）のうち2つ以上を併願する場合は、必ず「**センター利用入試・一般入試（英語4技能テスト利用型）の出願締切日までに一度にまとめて**」出願してください。各入試を一度にまとめて出願しない場合、併願の扱いにならず、検定料も減額されませんのでご注意ください。
- 一般入試、一般入試（英語4技能テスト利用型）およびセンター利用入試（センター＋一般方式）を複数回に分けて出願した場合、受験票が複数枚届きますので、入試当日は自身の判断でいずれかを選択し受験してください。
- 一般入試およびセンター利用入試（センター＋一般方式）の受験時にドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を選択した場合も、入学後は英語が必修となります。
- 一般入試とセンター利用入試（センター＋一般方式）を併願する場合は、必ず同じ外国語を選択してください。
- 2017年度設置の「JCUIP：国際日本文化論プログラム」は一般入試・一般入試（英語4技能テスト利用型）・センター利用入試では受験できません。（英語による学位取得プログラム用の総合選抜型入試のみとなります）

一般入試

一般入試、一般入試（英語4技能テスト利用型）の2つの方式があり、各方式の併願が可能です。

一般入試

■試験科目・出題範囲等

時間割		教科	配点	科目と出題範囲
1時限	10:00～11:30	外国語	75	次のうちから1つを選択 ①英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） ※②ドイツ語③フランス語④中国語⑤韓国語
2時限	13:00～14:30	国語	75	国語総合、現代文B、古典B
3時限	15:30～16:30	地歴	50	次のうちから1科目選択 ①世界史B②日本史B

※ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を選択する場合は、センター試験の当該科目を受験してください。センター試験外国語得点（配点200点）を一般入試外国語得点（配点75点）に調整して利用します。なお、試験当日は**第2時限からの受験**になりますので、「第2時限からの入場」（41ページ）を確認してください。

一般入試（英語4技能テスト利用型）

■試験科目・出題範囲等

時間割		教科	配点	科目と出題範囲
2時限	13:00～14:30	国語	75	国語総合、現代文B、古典B
3時限	15:30～16:30	地歴	50	次のうちから1科目選択 ①世界史B②日本史B

※試験当日は**第2時限からの受験**になりますので41ページ「第2時限からの入場」を確認してください。ただし、一般入試およびセンター利用入試（センター＋一般方式）を併願し、英語を選択する場合は、1時限に入場してください。

- ・次の英語4技能テストのうちから1つを選択し、総点および各技能点において基準を満たす場合、出願を認めます。

技能	TEAP	IELTS	実用英語技能検定		TOEFL®
			2016年2月～2016年3月受験者	2016年4月以降受験者（CSE2.0）	iBT
総点	280	6	1級/準1級合格者	2200	60
Reading	65	5		500	14
Listening	65	5		500	14
Writing	65	5		500	14
Speaking	65	5		500	14

- ・英語4技能テストのスコアは加算方式ではありません。提出する試験種別に有利・不利はありません。
- ・TEAP（CBT）、IELTS（General）は対象外となります。
- ・実用英語技能検定について、2016年4月以降の受験者は、英語4技能テストが適用される級に限るものとします。
- ・スコアを証明する書類に関する注意事項は6ページおよび35～36ページを確認してください。

■合格基準点

一般入試（英語4技能テスト利用型）については、国語・地歴それぞれに合格基準点を設けます。基準点に満たない場合は不合格となります。

■合否判定

英語4技能テストのスコアが基準を満たしているものを対象として、一般入試の2教科の得点で合否を判定します。

3. 文化構想学部（前ページからの続き）

センター利用入試

「センター＋一般方式」、「センターのみ方式」の2つの方式があり、各方式の併願が可能です。

センター＋一般方式

■試験科目・出題範囲等

1次試験（センター試験 1教科1科目）

教科	配点	科目
地歴・公民	50	①地理B②現代社会③倫理④政治・経済⑤倫理、政治・経済
数学		①数学Ⅰ・数学A②数学Ⅱ・数学B
理科		①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

- ・センター試験科目得点（配点100点）をセンター利用入試科目得点（配点50点）に換算して利用します。「世界史B」「日本史B」等は試験科目に含まれていませんので、注意してください。
- ・上記科目の範囲内で、複数の科目を受験した場合、最高得点の科目の成績を大学側で抽出し、合否判定に利用します。ただし「地歴・公民」、「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」において2科目受験の場合は、それぞれの第1解答科目のみを合否判定に利用します。2科目受験で上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、当該教科の科目は合否判定の対象外となります。

2次試験（文化構想学部一般入試）

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限 10:00～11:30	外国語	75	次のうちから1つを選択 ①英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） ※②ドイツ語③フランス語④中国語⑤韓国語
2時限 13:00～14:30	国語	75	国語総合、現代文B、古典B

- ・センター利用入試（センター＋一般方式）を単願受験する場合、2次試験（文化構想学部一般入試）当日は**第2時限までの受験**となりますので、「退室・退場」（42ページ）を確認してください。
- ※ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を選択する場合は、センター試験の当該科目を受験してください。センター試験外国語得点（配点200点）をセンター利用入試外国語得点（配点75点）に調整して利用します。なお、試験当日は**第2時限からの受験**になりますので、「第2時限からの入場」（41ページ）を確認してください。

■合否判定

1次試験（センター試験）の得点と2次試験（文化構想学部一般入試「外国語」および「国語」）の得点を合算して、合否を判定します。

センターのみ方式

■試験科目・出題範囲等

センター試験 5教科6科目（必須科目5教科5科目＋選択1科目）

必須科目

教科	配点	科目
外国語	200	次のうちから1科目 ①英語②ドイツ語③フランス語④中国語⑤韓国語 ※英語はリスニングを含む配点250点を200点に換算
国語	200	国語
地歴・公民	100	次のうちから1科目 ①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学	100	数学Ⅰ・数学A
理科	100	①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

選択科目

教科	配点	科目
地歴・公民	100	①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学		①数学Ⅱ・数学B②簿記・会計③情報関係基礎
理科		①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

- ・「理科」において、基礎を付した科目（2科目）と基礎を付していない科目（1科目）の両方を受験した場合は、得点の高い方の成績を大学側で自動的に抽出し、合否判定に利用します。
- ・「地歴・公民」「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」において1科目受験の場合は、上記以外の科目を選択すると合否判定の対象外となります。2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、合否判定の対象外となります。
- ・選択科目において、上記科目の範囲内で複数の科目を受験した場合、最高得点の科目の成績を大学側で抽出し、合否判定に利用します。ただし、必須科目として採点対象とした科目は除きます。

■合否判定

センター試験の得点（配点800点）のみで合否を判定します。

4. 文学部

- 学部単位での募集となり、2年次に各コースに進級します（コースについては「入学案内」必読）。
- 一般入試とセンター利用入試に各2つ、計4つの入試制度があり、各制度の併願が可能です。複数の入試制度を一度にまとめて出願する場合、検定料が減額になることがあります。詳細については、32ページを確認してください。
- 一般入試、一般入試（英語4技能テスト利用型）およびセンター利用入試（センター＋一般方式）のうち2つ以上を併願する場合は、必ずセンター利用入試・一般入試（英語4技能テスト利用型）の出願締切日までに一度にまとめて出願してください。各入試を一度にまとめて出願しない場合、併願の扱いにならず、検定料も減額されませんのでご注意ください。
- 一般入試、一般入試（英語4技能テスト利用型）およびセンター利用入試（センター＋一般方式）を複数回に分けて出願した場合、受験票が複数枚届きますので、入試当日は自身の判断でいずれかを選択し受験してください。
- 一般入試およびセンター利用入試（センター＋一般方式）の受験時にドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を選択した場合も、入学後は英語が必修となります。
- 一般入試とセンター利用入試（センター＋一般方式）を併願する場合は、必ず同じ外国語を選択してください。

一般入試

一般入試、一般入試（英語4技能テスト利用型）の2つの方式があり、各方式の併願が可能です。

一般入試

■試験科目・出題範囲等

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限 10:00～11:30	外国語	75	次のうちから1つを選択 ①英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） ※②ドイツ語③フランス語④中国語⑤韓国語
2時限 13:00～14:30	国語	75	国語総合、現代文B、古典B
3時限 15:30～16:30	地歴	50	次のうちから1科目選択 ①世界史B②日本史B

※ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を選択する場合は、センター試験の当該科目を受験してください。センター試験外国語得点（配点200点）を一般入試外国語得点（配点75点）に調整して利用します。なお、試験当日は第2時限からの受験になりますので、「第2時限からの入場」（41ページ）を確認してください。

一般入試（英語4技能テスト利用型）

■試験科目・出題範囲等

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
2時限 13:00～14:30	国語	75	国語総合、現代文B、古典B
3時限 15:30～16:30	地歴	50	次のうちから1科目選択 ①世界史B②日本史B

※試験当日は第2時限からの受験になりますので41ページ「第2時限からの入場」を確認してください。ただし、一般入試およびセンター利用入試（センター＋一般方式）を併願し、英語を選択する場合は、1時限に入場してください。

- ・次の英語4技能テストのうちから1つを選択し、総点および各技能点において基準を満たす場合、出願を認めます。

技能	TEAP	IELTS	実用英語技能検定		TOEFL®
			2016年2月～2016年3月受験者	2016年4月以降受験者 (CSE2.0)	iBT
総点	280	6	1級/準1級合格者	2200	60
Reading	65	5		500	14
Listening	65	5		500	14
Writing	65	5		500	14
Speaking	65	5		500	14

- ・英語4技能テストのスコアは加算方式ではありません。提出する試験種別に有利・不利はありません。
- ・TEAP (CBT)、IELTS (General) は対象外となります。
- ・実用英語技能検定について、2016年4月以降の受験者は、英語4技能テストが適用される級に限るものとします。
- ・スコアを証明する書類に関する注意事項は6ページおよび35～36ページを確認してください。

■合格基準点

一般入試（英語4技能テスト利用型）については、国語・地歴それぞれに合格基準点を設けます。基準点に満たない場合は不合格となります。

■合否判定

英語4技能テストのスコアが基準を満たしているものを対象として、一般入試の2教科の得点で合否を判定します。

センター利用入試

「センター＋一般方式」、「センターのみ方式」の2つの方式があり、各方式の併願が可能です。

センター＋一般方式

■試験科目・出題範囲等

1次試験（センター試験 1教科1科目）

教科	配点	科目
地歴・公民	50	①地理B②現代社会③倫理④政治・経済⑤倫理、政治・経済
数学		①数学Ⅰ・数学A②数学Ⅱ・数学B
理科		①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

- ・センター試験科目得点（配点100点）をセンター利用入試科目得点（配点50点）に換算して利用します。「世界史B」「日本史B」等は試験科目に含まれていませんので、注意してください。
- ・上記科目の範囲内で、複数の科目を受験した場合、最高得点の科目の成績を大学側で抽出し、合否判定に利用します。ただし「地歴・公民」、「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」において2科目受験の場合は、それぞれの第1解答科目のみを合否判定に利用します。2科目受験で上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、当該教科の科目は合否判定の対象外となります。

4. 文学部（前ページからの続き）

2次試験（文学部一般入試）

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限 10:00～11:30	外国語	75	次のうちから1つを選択 ①英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） ※②ドイツ語③フランス語④中国語⑤韓国語
2時限 13:00～14:30	国語	75	国語総合、現代文B、古典B

・センター利用入試（センター＋一般方式）を単願受験する場合、2次試験（文学部一般入試）当日は**第2時限までの受験**となりますので、「退室・退場」（42ページ）を確認してください。

※ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を選択する場合は、センター試験の当該科目を受験してください。センター試験外国語得点（配点200点）をセンター利用入試外国語得点（配点75点）に調整して利用します。なお、試験当日は**第2時限からの受験**となりますので、「第2時限からの入場」（41ページ）を確認してください。

■合否判定

1次試験（センター試験）の得点と2次試験（文学部一般入試「外国語」および「国語」）の得点を合算して、合否を判定します。

センターのみ方式

■試験科目・出題範囲等

センター試験 5教科6科目（必須科目5教科5科目＋選択1科目）

必須科目

教科	配点	科目
外国語	200	次のうちから1科目 ①英語②ドイツ語③フランス語④中国語⑤韓国語 ※英語はリスニングを含む配点250点を200点に換算
国語	200	国語
地歴・公民	100	次のうちから1科目 ①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学	100	数学Ⅰ・数学A
理科	100	①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

選択科目

教科	配点	科目
地歴・公民	100	①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学		①数学Ⅱ・数学B②簿記・会計③情報関係基礎
理科		①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

・「理科」において、基礎を付した科目（2科目）と基礎を付していない科目（1科目）の両方を受験した場合は、得点の高い方の成績を大学側で自動的に抽出し、合否判定に利用します。

・「地歴・公民」「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」において1科目受験の場合は、上記以外の科目を選択すると合否判定の対象外となります。2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、合否判定の対象外となります。

・選択科目において、上記科目の範囲内で複数の科目を受験した場合、最高得点の科目の成績を大学側で抽出し、合否判定に利用します。ただし、必須科目として採点対象とした科目は除きます。

■合否判定

センター試験の得点（配点800点）のみで合否を判定します。

5. 法学部

●一般入試とセンター利用入試の2つの制度があり、両制度の併願が可能です。

一般入試

■試験科目・出題範囲等

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限 10:00~11:30	外国語	60	次のうちから1つを選択 ①英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） ※1 ②ドイツ語③フランス語④中国語
2時限 13:00~14:30	国語	50	国語総合、現代文B、古典B
3時限 15:30~16:30	地歴 公民 または ※数学	40	次のうちから1つを選択 ①世界史B②日本史B③政治・経済 ※2 ④数学（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B）

※1 ドイツ語・フランス語・中国語を選択する場合は、センター試験の当該科目を受験してください。センター試験外国語得点（配点200点）を一般入試外国語得点（配点60点）に調整して利用します。なお、試験当日は**第2時限からの受験**になりますので、「第2時限からの入場」（41ページ）を確認してください。

※2 数学を選択する場合は、センター試験の「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」両方の科目を受験してください。両科目の合計配点（200点）を一般入試地歴・公民または数学の配点（40点）に調整して利用します。なお、試験当日は**第2時限までの受験**となりますので、「退室・退場」（42ページ）を確認してください。

センター利用入試

■試験科目・出題範囲等

センター試験 5教科6科目（必須科目5教科5科目＋選択1科目）

必須科目

教科	配点	科目
外国語	200	次のうちから1科目 ①英語②ドイツ語③フランス語④中国語 ※英語はリスニングを含む配点250点を200点に換算
国語	200	国語
地歴・公民	100	次のうちから1科目 ①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学	100	数学Ⅰ・数学A
理科	100	①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

選択科目

教科	配点	科目
地歴・公民	100	①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学		①数学Ⅱ・数学B②簿記・会計③情報関係基礎
理科		①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

・「理科」において、基礎を付した科目（2科目）と基礎を付していない科目（1科目）の両方を受験した場合は、得点の高い方の成績を大学側で自動的に抽出し、合否判定に利用します。

・必須科目において、「地歴・公民」「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」を1科目受験の場合、上記以外の科目を選択すると合否判定の対象外となります。2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、合否判定の対象外となります。

・選択科目において、上記科目の範囲内で複数の科目を受験した場合、最高得点の科目の成績を大学側で抽出し、合否判定に利用します。ただし、必須科目として採点対象とした科目は除きます。

■合否判定

センター試験の得点（配点800点）のみで合否を判定します。

6. 政治経済学部

- 一般入試とセンター利用入試の2つの制度があり、両制度の併願が可能です。
- 学科の併願はできません。
- 受験時にドイツ語・フランス語を選択した場合も、入学後は英語が必修となります。
- 全入学者を対象としたクラス分けのテストやオリエンテーション等のイベントを3月中旬から行います。詳細は合格者宛に送付される入学手続書類を確認してください。

一般入試

■試験科目・出題範囲等

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限 10:00～11:30	外国語	90	次のうちから1つを選択 ①英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） ※②ドイツ語③フランス語
2時限 13:00～14:30	国語	70	国語総合、現代文B、古典B
3時限 15:30～16:30	地歴 または 数学	70	次のうちから1つを選択 ①世界史B②日本史B③数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（「確率分布と統計的な推測」を除く）

※ドイツ語・フランス語を選択する場合は、センター試験の当該科目を受験してください。センター試験外国語得点（配点200点）を一般入試外国語得点（配点90点）に調整して利用します。なお、試験当日は**第2時限からの受験**になりますので、「第2時限からの入場」（41ページ）を確認してください。

センター利用入試

■試験科目・出題範囲等

センター試験 5教科6科目

教科	配点	科目
外国語	200	英語 ※リスニングを含む英語の配点250点を200点に換算
国語	200	国語
地歴・公民	100	次のうちから1科目 ①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学	100	数学Ⅰ・数学A
	100	数学Ⅱ・数学B
理科	100	①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

- ・「理科」において、基礎を付した科目（2科目）と基礎を付していない科目（1科目）の両方を受験した場合は、得点の高い方の成績を大学側で自動的に抽出し、合否判定に利用します。
- ・「地歴・公民」「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」において、1科目受験の場合は、上記以外の科目を選択すると、合否判定の対象外となります。2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、合否判定の対象外となります。

■合否判定

センター試験の得点（配点800点）のみで合否を判定します。

7. 商学部

●一般入試とセンター利用入試の2つの制度があり、両制度の併願が可能です。

一般入試

■試験科目・出題範囲等

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限 10:00~11:30	外国語	80	次のうちから1つを選択 ①英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ） ※②ドイツ語③フランス語④中国語⑤韓国語
2時限 13:00~14:00	国語	60	国語総合、現代文B、古典B
3時限 15:00~16:00 15:00~16:30	地歴 公民	60	次のうちから1つを選択 ①世界史B②日本史B③政治・経済④数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B（「確率分布と統計的な推測」を除く）
	数学		

※ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語を選択する場合は、センター試験の当該科目を受験してください。
センター試験外国語得点（配点200点）を一般入試外国語得点（配点80点）に調整して利用します。なお、試験当日は**第2時限からの受験**になりますので、「第2時限からの入場」（41ページ）を確認してください。

センター利用入試

■試験科目・出題範囲等

センター試験 5教科（または4教科）5科目（必須科目3教科3科目＋選択2教科2科目）

必須科目

教科	配点	科目
外国語	200	次のうちから1科目 ①英語②ドイツ語③フランス語④中国語⑤韓国語 ※英語はリスニングを含む配点250点を200点に換算
国語	200	国語
数学	100	数学Ⅰ・数学A

選択科目

教科	配点	科目
地歴・公民	100	①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学		①数学Ⅱ・数学B②簿記・会計③情報関係基礎
理科	100	①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

- ・「理科」において、基礎を付した科目（2科目）と基礎を付していない科目（1科目）の両方を受験した場合は、得点の高い方の成績を大学側で自動的に抽出し、合否判定に利用します。
- ・選択科目において、上記指定科目の範囲内で3教科以上受験している場合は、得点の高い2教科の各科目の成績を大学側で抽出し、合否判定に利用します。（同一教科から2科目が抽出されることはありません）。
- ・「地歴・公民」「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」を2科目受験の場合、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、当該教科は合否判定の対象外となります。

■合否判定

センター試験の得点（配点700点）のみで合否を判定します。

8. スポーツ科学部

- 学部単位での募集となり、2年次に各コースに進級します（コースについては「入学案内」必読）。
- スポーツ科学部を一般入試とセンター利用入試（センター＋一般方式）の両制度で併願する場合は、検定料合計65,000円のところを55,000円に減額します。**ただし、一度にまとめて出願する場合があります。**
- 一般入試とセンター利用入試（センター＋一般方式）を併願する場合は、必ず**センター利用入試の出願締切日までに一度にまとめて**出願してください。両入試を一度にまとめて出願しない場合、併願の扱いにはならず、検定料も減額されませんのでご注意ください。
- 一般入試とセンター利用入試（センター＋一般方式）を別々に出願した場合、受験票が複数枚届きますので、入試当日は自身の判断でいずれかを選択し受験してください。

一般入試

■試験科目・出題範囲等

	時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限	10:00～11:30	外国語	75	①英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）
2時限	13:00～14:30	国語 または 数学	75	次のうちから1つを選択 ①国語総合、現代文B、古典B②数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（「確率分布と統計的な推測」を除く）
3時限	15:30～17:00	小論文	33	※

※小論文試験に関する注意事項

- ・提示された課題や資料等の内容をふまえて、自分の意見をまとめてください。
- ・指定の字数の範囲内で答案を作成してください。また、その字数の範囲を厳守してください。
- ・**「外国語」および「国語または数学」の得点の合計が基準点以上の者のみを採点の対象とし、**答案を複数の採点者が慎重かつ多角的に評価します。
- ・**小論文が基準点に満たない場合は、不合格となります。**
- ・解答用紙のほかに、下書き用紙を配付します。

センター利用入試

「センター＋一般方式」、「センターのみ方式」、「競技歴方式」の3つの方式があり、各方式の併願が可能です。

センター＋一般方式

■試験科目・出題範囲等

1次試験（センター試験 1教科1科目）

教科	配点	科目
地歴・公民	75	①世界史B ②日本史B ③地理B ④現代社会 ⑤倫理 ⑥政治・経済 ⑦倫理、政治・経済
理科		①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

- ・センター試験科目得点（配点100点）をセンター利用入試科目得点（配点75点）に換算して利用します。
- ・上記科目の範囲内で、複数の科目を受験した場合、最高得点の科目の成績を大学側で抽出し、合否判定に利用します。ただし、「地歴・公民」「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」において2科目受験の場合は、それぞれの第1解答科目のみを合否判定に利用します。2科目受験で上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、当該教科の科目は合否判定の対象外となります。

2次試験（スポーツ科学部一般入試）

時間割		教科	配点	科目と出題範囲
1時限	10:00～11:30	外国語	75	①英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）
2時限	13:00～14:30	国語 または 数学	75	次のうちから1つを選択 ①国語総合、現代文B、古典B②数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（「確率分布と統計的な推測」を除く）

※センター利用入試（センター＋一般方式）を単願受験する場合、2次試験（スポーツ科学部一般入試）当日は**第2時限までの受験**となりますので、「退室・退場」（42ページ）を確認してください。

■合否判定

1次試験（センター試験）の得点と2次試験（スポーツ科学部一般入試「外国語」および「国語または数学」）の得点を合算して合否を判定します。

センターのみ方式

■試験科目・出題範囲等

センター試験 4教科4科目（必須科目3教科3科目＋選択1教科1科目）

必須科目

教科	配点	科目
外国語	200	英語 ※リスニングを含む英語の配点250点を200点に換算した得点と、英語筆記試験のみの得点とを比較して、高い方を英語の得点とする
国語	100	国語 ※配点200点を100点に換算
数学	100	次のうちから1科目 ①数学Ⅰ・数学A②数学Ⅱ・数学B

選択科目

教科	配点	科目
地歴・公民	100	①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
理科		①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

- ・必須科目「数学」において、複数の科目を受験した場合、最高得点の科目の成績を大学側で抽出し、合否判定に利用します。
- ・選択科目において、上記科目の範囲内で複数の科目を受験した場合、最高得点の科目の成績を大学側で抽出し、合否判定に利用します。ただし、「地歴・公民」、「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」において2科目受験の場合は、それぞれの第1解答科目のみを合否判定に利用します。2科目受験で上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、当該教科の科目は合否判定の対象外となります。

■合否判定

センター試験の得点（配点500点）のみで合否を判定します。

8. スポーツ科学部（前ページからの続き）

競技歴方式

■試験科目・出題範囲等

1次試験（センター試験） 3教科3科目：必須科目1教科1科目＋選択2教科2科目）

必須科目

教科	配点	科目
外国語	200	英語 ※リスニングを含む英語の配点250点を200点に換算した得点を、英語筆記試験のみの得点と比較して、高い方を英語の得点とする

選択科目

教科	配点	科目
国語	100	国語 ※配点200点を100点に換算
地歴・公民		①世界史A ②日本史A ③地理A ④世界史B ⑤日本史B ⑥地理B ⑦現代社会 ⑧倫理 ⑨政治・経済 ⑩倫理、政治・経済から1科目
数学		①数学Ⅰ ②数学Ⅰ・数学A ③数学Ⅱ ④数学Ⅱ・数学B ⑤簿記・会計 ⑥情報関係基礎から1科目
理科		①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

- ・上記科目の範囲内で複数の科目を受験した場合、最高得点の科目の成績を大学側で抽出し、合否判定に利用します。ただし、「地歴・公民」、「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」において2科目受験の場合は、それぞれの第1解答科目のみを合否判定に利用します。2科目受験で上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、当該教科の科目は合否判定の対象外となります。

2次試験（書類審査）

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
—	書類審査	200	スポーツ競技歴調査書

■合否判定

1次試験（センター試験）の得点（配点400点）と2次試験（書類審査）の得点（配点200点）を合算して合否を判定します。

9. 国際教養学部

- 一般入試とセンター利用入試の2つの制度があり、両制度の併願が可能です。
- 国際教養学部のカリキュラムは、母語が日本語である学生用の「Study Plan 1」と、母語が日本語以外の言語である学生用の「Study Plan 2」に分かれています。なお、一般入試ならびにセンター利用入試による入学者は、「Study Plan 1」（下表参照）のカリキュラムが適用されます。不明な点がある場合は国際教養学部事務所（TEL：03-5286-1716）まで問い合わせてください。

■Study Plan 1

定義	母語が日本語の学生で、日本語による科目履修（読解力、会話力、聴解力、文章作成能力等）に支障のない学生が対象です。
カリキュラム内容	<ul style="list-style-type: none"> ●英語科目が必修です。様々な英語力補強のプログラムを用意しています。 ●英語能力が一定の基準を超えている場合は、英語科目の一部が免除されます。 ●在学中、1年間の海外留学が必須となります。 ●1年次に行われる基礎演習ⅠA・ⅡA等、一部の授業は日本語で行います。

- 全入学者の参加が義務付けられているクラス分けのテストやオリエンテーション等のイベントを **3月中旬から行います。必ず予定を空けておくようにしてください。** なお、詳細は合格者宛に送付される入学手続書類を確認してください。

一般入試

■試験科目・出題範囲等

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限 10:00～11:30	外国語 (英語)	85	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）
2時限 13:00～14:00	国語	50	国語総合、現代文B、古典B
3時限 15:00～16:00	地歴 または 数学	50	次のうちから1つを選択 ①世界史B②日本史B③数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B（「確率分布と統計的な推測」を除く）
英語4技能テスト		15	出願時に提出されたスコアを下表のとおり換算します。ただし未提出による出願も可能です。

■英語4技能テストの評価方法

英語4技能テストの種類		素点換算 (15点満点)
実用英語技能検定	TOEFL® iBT	
1級 合格	95以上	15点
準1級 合格	72～94	10点
2級 合格	42～71	5点
準2級合格 以下	41以下	0点
未提出（出願可）		0点

- ・実用英語技能検定（英検）は各級合格のみを評価しCSE2.0の総点および各技能点は問いません。
- ・TOEFL® iBTは総点（Total Score）のみを評価し各技能点は問いません。
- ・0点換算となるスコアを証明する書類を提出する必要はありません。
- ・上記以外の英語4技能テストの書類を提出しても換算および加点されません。
- ・スコアを証明する書類に関する注意事項は6ページおよび35～36ページを確認してください。

■合否判定

3教科の得点と英語4技能テストを換算した得点を合算して合否を判定します。

9. 国際教養学部（前ページからの続き）

センター利用入試

■試験科目・出題範囲等

センター試験 5教科6科目

教科	配点	科目
外国語	250	英語 ※リスニングを含む
国語	200	国語
地歴・公民	100	次のうちから1科目 ①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学	100	数学Ⅰ・数学A
	100	数学Ⅱ・数学B
理科	100	①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

- ・「理科」において、基礎を付した科目（2科目）と基礎を付していない科目（1科目）の両方を受験した場合は、得点の高い方の成績を大学側で自動的に抽出し、合否判定に利用します。
- ・「地歴・公民」「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」において、1科目受験の場合は、上記以外の科目を選択すると、合否判定の対象外となります。2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、合否判定の対象外となります。

■合否判定

センター試験の得点（配点850点）のみで合否を判定します。

10. 人間科学部

●一般入試とセンター利用入試の2つの制度があり、両制度の併願が可能です。

一般入試

学科の併願はできません。

■試験科目・出題範囲等

文系方式または理系方式のどちらかを選択してください。

文系方式

時間割		教科	配点	科目と出題範囲
1時限	10:00~11:30	外国語	50	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）
2時限	13:00~14:00	国語	50	国語総合、現代文B、古典B
3時限	15:00~16:00	地歴 公民 または 数学	50	次のうちから1つを選択 ①世界史B②日本史B③政治・経済④数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B（「確率分布と統計的な推測」を除く）

理系方式

時間割		教科	配点	科目と出題範囲
1時限	10:00~11:30	外国語	50	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）
2時限	13:00~14:00	理科	50	次のうちから1つを選択 ①物理基礎、物理②化学基礎、化学 ③生物基礎、生物
3時限	15:00~16:00	数学	50	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、 数学B（「確率分布と統計的な推測」を除く）

10. 人間科学部（前ページからの続き）

センター利用入試

「センターのみ方式」、「数学選抜方式」の2つの方式があり、各方式の併願が可能です。

センターのみ方式

学科の併願が可能です（2学科または3学科）。

■試験科目・出題範囲等

センター試験 5教科6科目

教科	配点	科目
外国語	100	次のうちから1科目 ①英語②ドイツ語③フランス語④中国語⑤韓国語 ※英語はリスニングを含む配点250点を100点に換算、英語以外の「外国語」は配点200点を100点に換算
国語	100	国語 ※配点200点を100点に換算
地歴・公民	100	次のうちから1科目 ①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学	50	数学Ⅰ・数学A ※配点100点を50点に換算
	50	数学Ⅱ・数学B ※配点100点を50点に換算
理科	100	①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

- ・「理科」において、基礎を付した科目（2科目）と基礎を付していない科目（1科目）の両方を受験した場合は、得点の高い方の成績を大学側で自動的に抽出し、合否判定に利用します。
- ・「地歴・公民」「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」において、1科目受験の場合は、上記以外の科目を選択すると、合否判定の対象外となります。2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、合否判定の対象外となります。

■合否判定

センター試験の得点（配点500点）のみで合否を判定します。

数学選抜方式

学科の併願はできません。

■試験科目・出題範囲等

1次試験（センター試験 5教科6科目）

教科	配点	科目
外国語	40	次のうちから1科目 ①英語②ドイツ語③フランス語④中国語⑤韓国語 ※英語はリスニングを含む配点250点を40点に換算、英語以外の「外国語」は配点200点を40点に換算
国語	20	国語 ※配点200点を20点に換算
地歴・公民	20	次のうちから1科目 ①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済 ※配点100点を20点に換算
数学	20	数学Ⅰ・数学A ※配点100点を20点に換算
	20	数学Ⅱ・数学B ※配点100点を20点に換算
理科	20	①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目 ※配点100点を20点に換算

- ・「地歴・公民」「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」において、1科目受験の場合は、上記以外の科目を選択すると、合否判定の対象外となります。2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、合否判定の対象外となります。
- ・「理科」において、基礎を付した科目（2科目）と基礎を付していない科目（1科目）の両方を受験した場合は、得点の高い方の成績を大学側で自動的に抽出し、合否判定に利用します。

2次試験

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限 10:00~12:00	数学	560	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、 数学B（「確率分布と統計的な推測」を除く）

■2次試験に関する注意事項

- ・2次試験では、必須問題と選択問題を出题します。
- ・必須問題では、上記出題範囲のうち数学Ⅲを除く範囲から出题します。
- ・選択問題では、設問の選択により、上記出題範囲のうち数学Ⅲを除く範囲のみでの解答も可能です。

■合否判定

1次試験（センター試験）の得点（配点140点）と2次試験（数学）の得点（配点560点）を総合的に審査し、合否を判定します。

11. 社会科学部

●一般入試とセンター利用入試の2つの制度があり、両制度の併願が可能です。

一般入試

■試験科目・出題範囲等

時間割	時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限	10:00～11:30	外国語	50	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ）
2時限	13:00～14:00	国語	40	国語総合、現代文B、古典B
3時限	15:00～16:00	地歴 公民 または 数学	40	次のうちから1つを選択 ①世界史B②日本史B③政治・経済④数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、 数学B（「確率分布と統計的な推測」を除く）

センター利用入試

■試験科目・出題範囲等

センター試験 5教科6科目（必須科目5教科5科目＋選択1科目）

必須科目

教科	配点	科目
外国語	125	次のうちから1科目 ①英語②ドイツ語③フランス語④中国語⑤韓国語 ※英語はリスニングを含む配点250点を125点に換算、英語以外の「外国語」は配点200点を125点に換算
国語	100	国語 ※配点200点を100点に換算
地歴・公民	100	次のうちから1科目 ①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学	100	数学Ⅰ・数学A
理科	100	①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

選択科目

教科	配点	科目
地歴・公民	100	①世界史B②日本史B③地理B④現代社会⑤倫理⑥政治・経済⑦倫理、政治・経済
数学		数学Ⅱ・数学B
理科		①物理基礎②化学基礎③生物基礎④地学基礎から2科目 または⑤物理⑥化学⑦生物⑧地学から1科目

- ・「理科」において、基礎を付した科目（2科目）と基礎を付していない科目（1科目）の両方を受験した場合は、得点の高い方の成績を大学側で自動的に抽出し、合否判定に利用します。
- ・必須科目において、「地歴・公民」「理科（⑤物理、⑥化学、⑦生物、⑧地学）」を1科目受験の場合、上記以外の科目を選択すると合否判定の対象外となります。2科目受験の場合は、第1解答科目の成績を合否判定に利用します。上記以外の科目を第1解答科目として選択した場合、合否判定の対象外となります。
- ・選択科目において、上記科目の範囲内で複数の科目を受験した場合、最高得点の科目の成績を大学側で抽出し、合否判定に利用します。ただし、必須科目として採点対象とした科目は除きます。

■合否判定

センター試験の得点（配点625点）のみで合否を判定します。

12. 基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部

●一般入試のみの実施で、センター利用入試は実施しません。また、これらの3学部は同一試験日に同一試験問題で一般入試を実施します。3学部間の併願はできません。

一般入試

■理科解答パターン・得意科目選考対象科目

学部	学系・学科	理科解答パターン	得意科目選考対象科目
基幹理工学部	学系Ⅰ	次のうちから1パターンを選択 A (物理・化学) B (物理・生物) C (化学・生物)	—
	学系Ⅱ	A (物理・化学)	—
	学系Ⅲ	次のうちから1パターンを選択 A (物理・化学) B (物理・生物) C (化学・生物)	英語、数学、物理、 化学、生物
創造理工学部	建築学科	A (物理・化学)	英語、数学、空間表現
	総合機械工学科		数学、物理、化学
	経営システム工学科		英語、数学、物理、化学
	社会環境工学科		英語、数学、物理、化学
	環境資源工学科		数学、物理、化学
先進理工学部	物理学科	A (物理・化学)	—
	応用物理学科	A (物理・化学)	—
	化学・生命化学科	A (物理・化学)	—
	応用化学科	次のうちから1パターンを選択 A (物理・化学) C (化学・生物)	—
	生命医科学科	次のうちから1パターンを選択 A (物理・化学) B (物理・生物) C (化学・生物)	—
	電気・情報生命工学科	次のうちから1パターンを選択 A (物理・化学) B (物理・生物) C (化学・生物)	—

学系・学科の併願はできません。ただし、先進理工学部のみ **学部内で同一の理科解答パターンを持つ学科**を第2志望学科とすることができます(第1志望と同じ学科を第2志望とすることはできません)。

12. 基幹理工学部 創造理工学部 先進理工学部(前ページからの続き)

■試験科目・出題範囲等

時間割		教科	配点	科目と出題範囲
2月16日(金)	1時限 9:40～11:40	数学	120	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、 数学B（「確率分布と統計的な推測」を除く）
	2時限 13:00～15:00	理科	120 (1科目 60点)	次のうちから、志望学部・学系・学科により指定された 解答パターンに応じ2つを選択 ①物理基礎、物理②化学基礎、化学③生物基礎、生物
	3時限 16:00～17:30	外国語	120	英語（コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション 英語Ⅱ、コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語 表現Ⅱ）
2月17日(土)	1時限 9:40～11:40	空間表現 (鉛筆デッ サンなど)	40	※創造理工学部建築学科志願者のみ

■空間表現（鉛筆デッサンなど）

創造理工学部建築学科志願者は、2月16日（金）の筆記試験に加え、2月17日（土）の「空間表現（鉛筆デッサンなど）」を受験してください。詳細は以下のとおりです。

- 「空間表現（鉛筆デッサンなど）」の試験を欠席した場合は合否判定の対象外となります。
- 「空間表現（鉛筆デッサンなど）」の試験当日は、①受験票、②黒鉛筆（濃さは自由）、③消しゴム（練り消しゴムも可）を持参してください。
- シャープペンシル・スケッチ用器具・定規等は使用できません。
- 解答用紙（ケント紙）は大学で用意します。
- 受験者は、**試験開始時刻の30分前までに試験教室に入室してください。**なお、座席は2月16日（金）と同一です。
- 試験開始後20分を経過してからの試験場への入場は認めません。

■得意科目選考

基幹理工学部（学系Ⅲ）および創造理工学部では、特定の科目で卓越した能力を持つ受験者に対し、能力や個性を伸ばす機会を与えるため、通常の合計点による合否判定とは別に、「得意科目選考」を実施しています。

これは、学系・学科別対象科目（「得意科目選考対象科目」26ページ参照）で特に優れた能力を示したと当該学系・学科が判定した受験者を、合計点で合格最低点に達していなくても「合格」とする場合があります選考方式です。（受験者全員が得意科目選考の対象となります。申請する必要はありません。）

■試験に関する注意事項

■基幹理工学部

学系単位で募集します。学系の併願はできません。学科配属は、予め指定された単位数を取得した学生を対象として行われ、2年次へ進級する際は原則として所属学系内から進級先の学科を選択します。

各学系から進級できる学科・定員は次の通りです。

学系	学科	定員
学系Ⅰ	数学科	50名
	応用数理学科	30名
学系Ⅱ	応用数理学科	30名
	機械科学・航空学科	140名
	電子物理システム学科	80名
	情報理工学科	50名
学系Ⅲ	情報通信学科	50名
	情報理工学科	30名
	情報通信学科	30名
	表現工学科	60名

学科配属は本人の希望を最優先としますが、希望が集中した場合は1年次の成績も考慮します。

創造理工学部

学科単位で募集します。学科の併願はできません。

先進理工学部

- 学科単位で募集します。学科の併願はできませんが、**第1志望学科とは別に、学部内で同一の理科解答パターンを持つ学科**を第2志望とすることができます。
- 物理学科、応用物理学科では理科において、物理：化学の配点を2：1（80点：40点）の比で重み付けをします（物理重視）。また、化学・生命化学科では化学：物理の配点を2：1（80点：40点）の比で、応用化学科では、化学：物理または生物の配点を2：1（80点：40点）の比で重み付けをします（化学重視）。
- 第1志望学科が不合格または補欠の場合で、合計点が第2志望学科の合格最低点を上回っている場合のみ、第2志望学科が合格となります。**第1志望学科および第2志望学科の両方が合格となることはありません。また、「補欠合格者発表」（45ページ）については、**第1志望学科のみ対象となります。**
- 第1志望学科が補欠、第2志望学科が合格となった方が、補欠合格者発表において第1志望学科が繰り上げて合格となった場合は、第2志望学科の合格は取り消されます。**同時に2学科に合格することはありません。
- 「合格者発表」（45～52ページ参照）は、第1・第2志望学科のそれぞれについて確認してください。

13. 教育学部

- 一般入試のみの実施で、センター利用入試は実施しません。
- 受験時にドイツ語・フランス語を選択した場合も、入学後は英語が必修となります。

一般入試

試験方式

学科	専攻	専修	試験方式 (28ページ参照)
教育学科	教育学専攻	教育学専修	文科系 (A方式)
		生涯教育学専修	
		教育心理学専修	
	初等教育学専攻	—	次のうちからいずれか1方式を選択 文科系 (A方式) 理科系 (B方式)
国語国文学科	—	—	文科系 (A方式)
英語英文学科	—	—	文科系 (A方式)
社会科	—	地理歴史専修	文科系 (A方式)
	—	公共市民学専修	
理学科	—	生物学専修	理科系 (B方式)
	—	地球科学専修	
数学科	—	—	理科系 (B方式)
複合文化学科	—	—	次のうちからいずれか1方式を選択 文科系 (A方式) 理科系 (B方式)

学科・専攻・専修の併願はできません。

試験科目・出題範囲等

文科系 (A方式)

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限 10:00~11:30	外国語	50	次のうちから1つを選択 ①英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ) ②ドイツ語③フランス語
2時限 13:00~14:00	地歴 公民	50	次のうちから1つを選択 ①世界史B②日本史B③地理B④政治・経済
3時限 15:00~16:30	国語	50	国語総合、現代文B、古典B

理科系 (B方式)

時間割	教科	配点	科目と出題範囲
1時限 10:00~11:30	外国語	50	次のうちから1つを選択 ①英語 (コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、 コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ) ②ドイツ語③フランス語
2時限 13:00~14:00	理科	50	次のうちから1つを選択 ①物理基礎、物理②化学基礎、化学 ③生物基礎、生物④地学基礎、地学
3時限 15:00~17:00	数学	50	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、 数学B (「確率分布と統計的な推測」を除く)

■試験に関する注意事項

- a. 教育学専修、生涯教育学専修、教育心理学専修、国語国文学科、英語英文学科、地理歴史専修、公共市民学専修志願者は文科系（A方式）を選択しなければなりません。
- b. 生物学専修、地球科学専修、数学科志願者は理科系（B方式）を選択しなければなりません。
- c. 初等教育学専攻、複合文化学科志願者は文科系（A方式）または理科系（B方式）のどちらかを選択してください。
- d. 英語英文学科志願者は外国語において必ず英語を選択しなければなりません。また、当該学科受験者の英語の得点は調整後の得点を1.5倍します。
- e. 国語国文学科受験者の国語の得点は調整後の得点を1.5倍します。
- f. 数学科受験者の数学の得点は調整後の得点を2.0倍します。
- g. 複合文化学科受験者の外国語の得点は調整後の得点を1.5倍します。

■地学選択者募集枠

理学科地球科学専修志願者で、理科の地学選択者については、理学科60名のうち5名を「地学選択者募集枠」として理科の他の科目選択者とは別枠で判定を行います。

■合格基準点

教育学部では、すべての教科で合格基準点を設けています。基準点に満たない教科がある場合は、合計点が合格最低点を超えていても不合格となります。

また、国語国文学科・英語英文学科・数学科は、上記に加え次のような条件を特定教科の合格基準点としています。

学科	教科	基準点
国語国文学科	国語	国語国文学科の全受験者の平均点
英語英文学科	外国語（英語）	英語英文学科の全受験者の平均点
数学科	数学	数学科の全受験者の平均点